

ＩＤ： 患者氏名： 様 症状： 号室

日付	月 日 ()	月 日 ()		月 日 () ～ 月 日 ()	月 日 ()
経過	入院当日	化学療法施行日（入院2日目）	化学療法施行日（入院9日目）	化学療法施行中～退院日	退院日
達成目標	治療の経過がわかる。	予定通りに治療が終了する。 症状出現時適切な対処が受けられる。		予定通りに治療が終了する。 症状出現時適切な対処が受けられる。	退院指導の内容がわかる。
検査	入院後、血液検査を行います。 			抗癌剤投与から3日目、7日目、10日目に血液検査をします。 骨髄抑制（白血球減少、貧血血小板減少）の有無を確認します。 骨髄抑制が許容範囲内であれば退院となります。	
治療・処置	入院時、処置は特にありません。	抗癌剤は、尿路上皮癌に効果があるパドセブ、キイトルーダというお薬を使用します。 以下、治療スケジュールです。		《抗癌剤の発症時期による症状と対処方法について》 【投与直後～数時間】 発疹、発赤などのアレルギー症状→抗アレルギー薬を投与します。 【投与から1～2日後】 吐き気、食欲不振など→吐き気止めの注射、内服薬の投与をします。 【投与から数日間経過してから】 白血球減少→G-CSF製剤（白血球を増やす薬）を注射します。採血データによって退院が延期となる場合があります。 貧血→輸血（頻度は稀です） 味覚の変化→味付けの工夫、うがいなど 	
		月 日 ()（入院2日目）	月 日 ()（入院9日目）		
		①パドセブという点滴をします（30分）	①パドセブという点滴をします（30分）		
		②生理食塩水の点滴をします（30分）	②生理食塩水の点滴をします（30分）		
		③キイトルーダという点滴をします（30分）			
		④生理食塩水の点滴をします（30分）			
説明・指導	入院生活について説明します。 薬剤師より、化学療法の薬剤について説明します。 予測される副作用および予防法・出現時の対処方法について説明があります。	点滴中、針の入っているところが痛くなったり、晴れたり、重苦しくなったらすぐに教えてください。 吐き気強い場合は、すぐに教えてください。症状により点滴や注射をして症状の改善を図ります。 尿量が少ない場合は、必要に応じて利尿剤の投与を行います。			退院指導（生活指導や次回再診日の連絡）を行います。 抵抗力が弱っているので、退院後も感染予防（手洗い・うがい）が必要です。 発熱などの症状があればすぐに外来へ連絡し、受診の相談をしてください。
内服・点滴	現在飲んでいる内服薬の確認をします。 常用薬は基本的に継続とします。				
食事	基礎疾患（高血圧・糖尿病）に応じて、治療食をお出しすることがあります	吐き気が出ることがあります。食事内容を変更したいときはお申し出ください。			
生活・行動	自由に歩いてかまいません。	特に行動制限はありません。白血球が減少すると抵抗力が弱くなるため、人混みは避け、うがい・手洗いをしっかりと行い感染に注意してください。 血液データに応じて日常生活の制限がある場合があります。			退院手続きが完了するまで、病室でお待ちください。
清潔	シャワー浴ができます。	抗癌剤投与時以外はシャワー浴ができます。			退院後は入浴できます。
その他	入院後に熱が出た場合は、化学療法を延期して一旦退院していただくこともあります。 入院に付きそいは必要ありません。	抗癌剤点滴開始初期（特に10分以内）に発疹や顔が赤くなってほてるなどのアレルギー症状が現れることがあります。 ほとんどは一時的なもので治まりますが、症状が出現した場合は申し出てください。			

注）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。